

★最新JG4巻大好評発売中!!表紙は半!!おまけも大量!!

逃げ上手の若君

第45話 顔藝1335

まつ い 陽うせい 松井優征

要不是...

少主!!

您受苦了!!

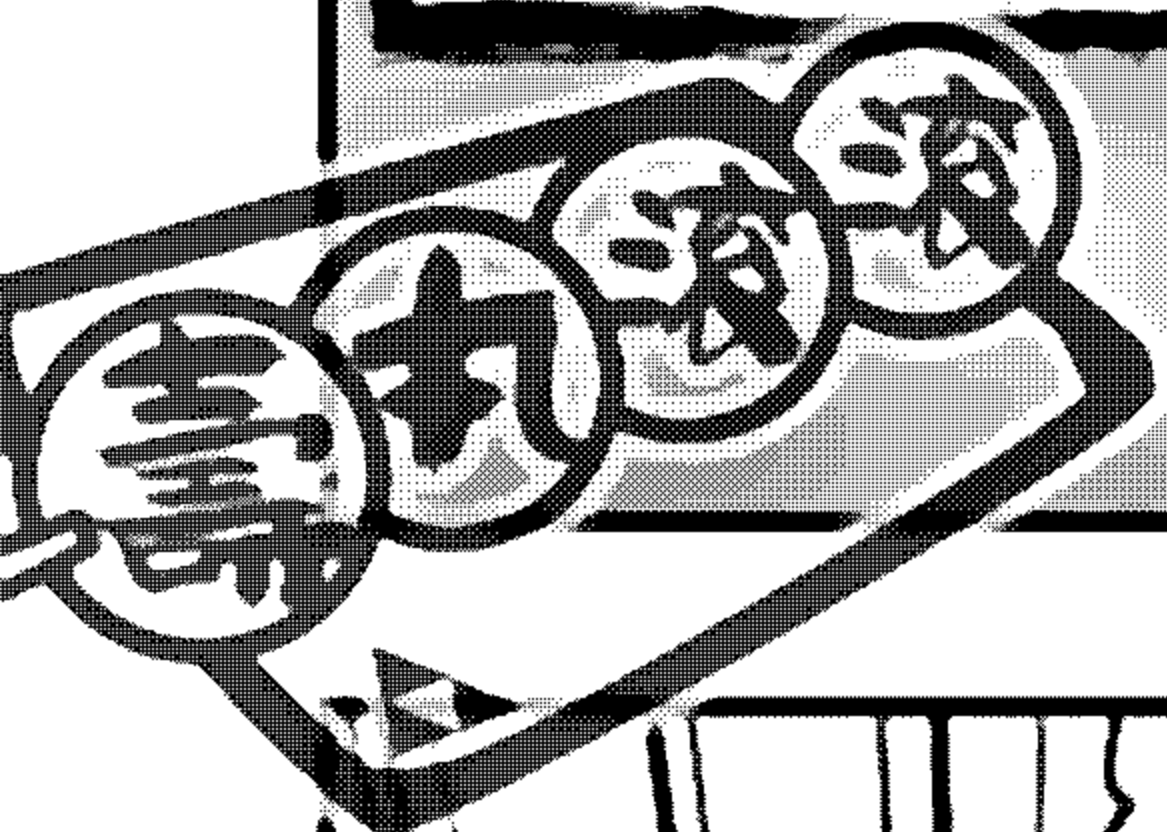
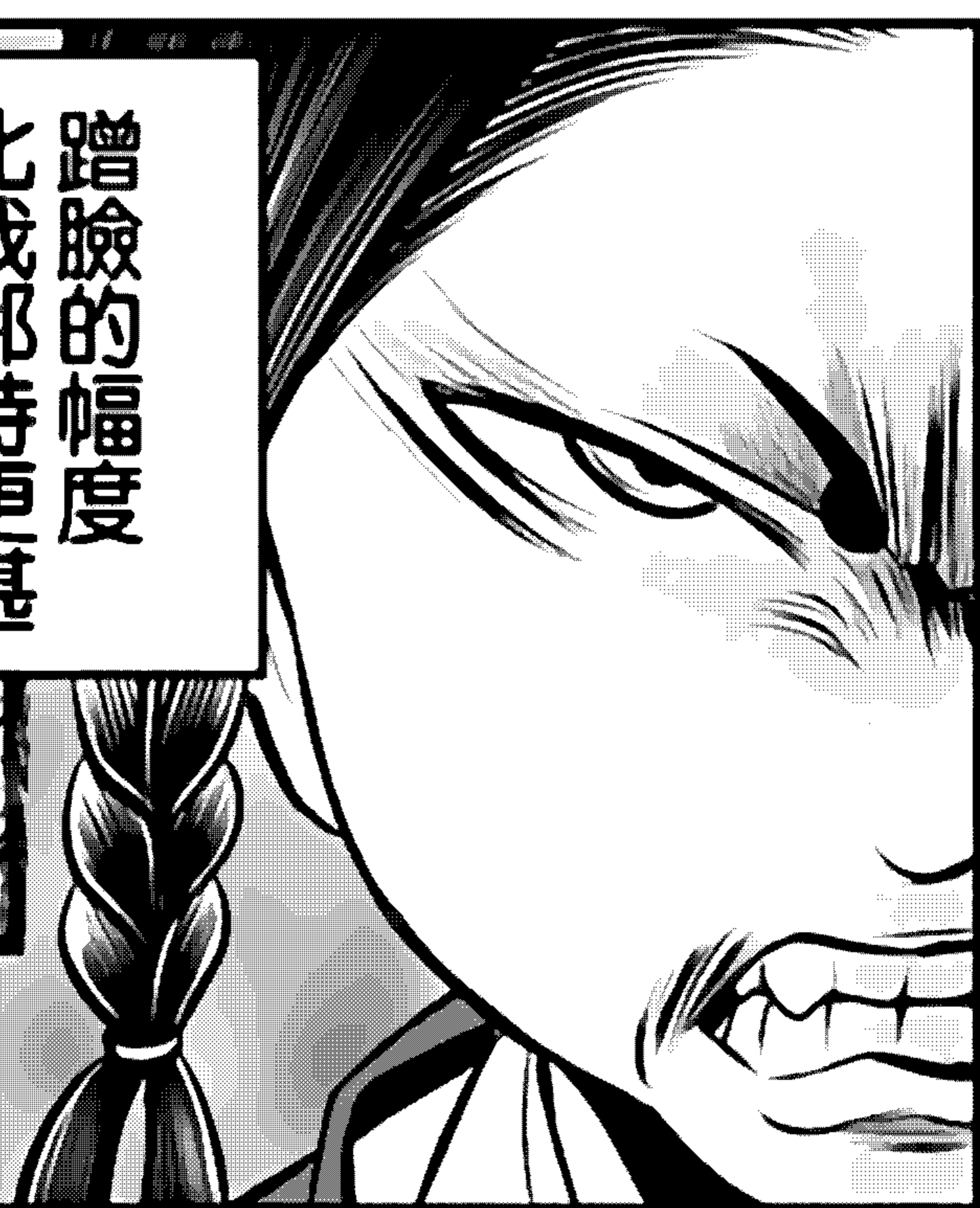
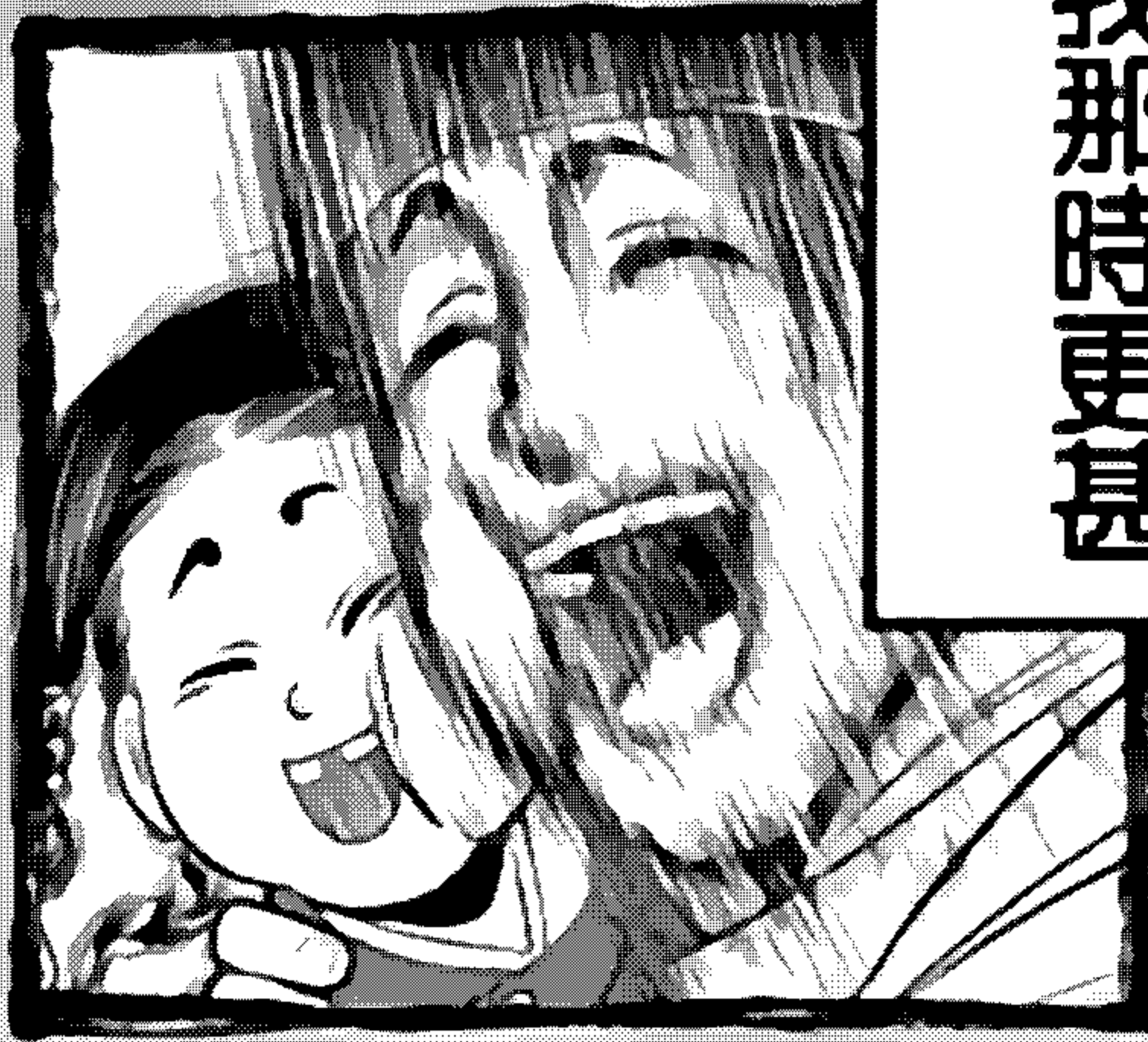
要不是那傢伙!

★主角之位被奪

嫉恨陡生。



蹭臉的幅度
比我那時更甚



說來你
有什麼資格坐在
祖父大人旁邊？

那本來是
我的位置！



那賴重
殿下

啊

我先
失陪了



別急著走
我會寂寞的

時間還早啊～

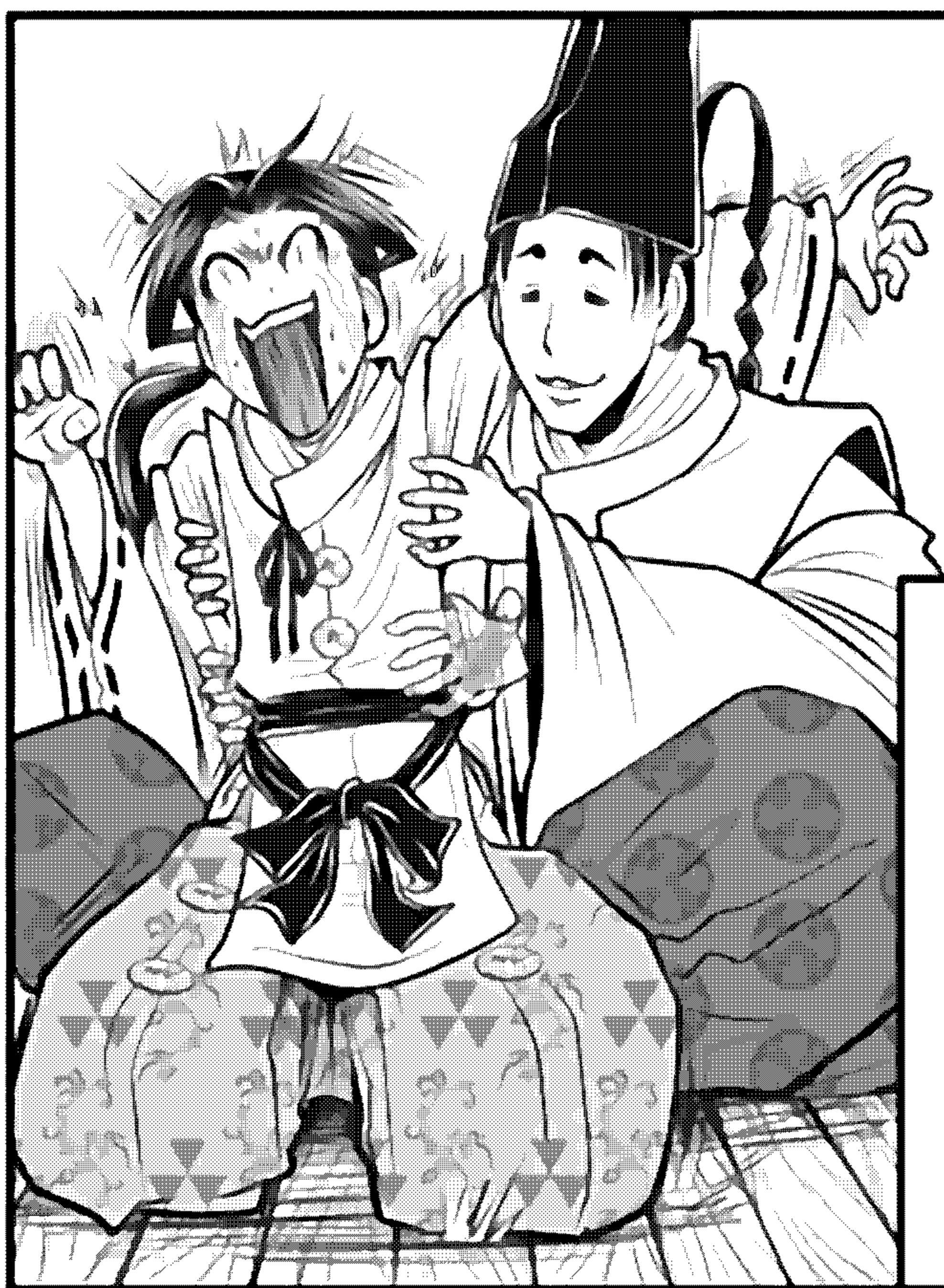
啊哈哈
哈哈

請別
糾纏不休！



撓癢比我那時
更針對要害

憑什麼你這種人
能獨佔祖父大人的
寵愛……！



首先

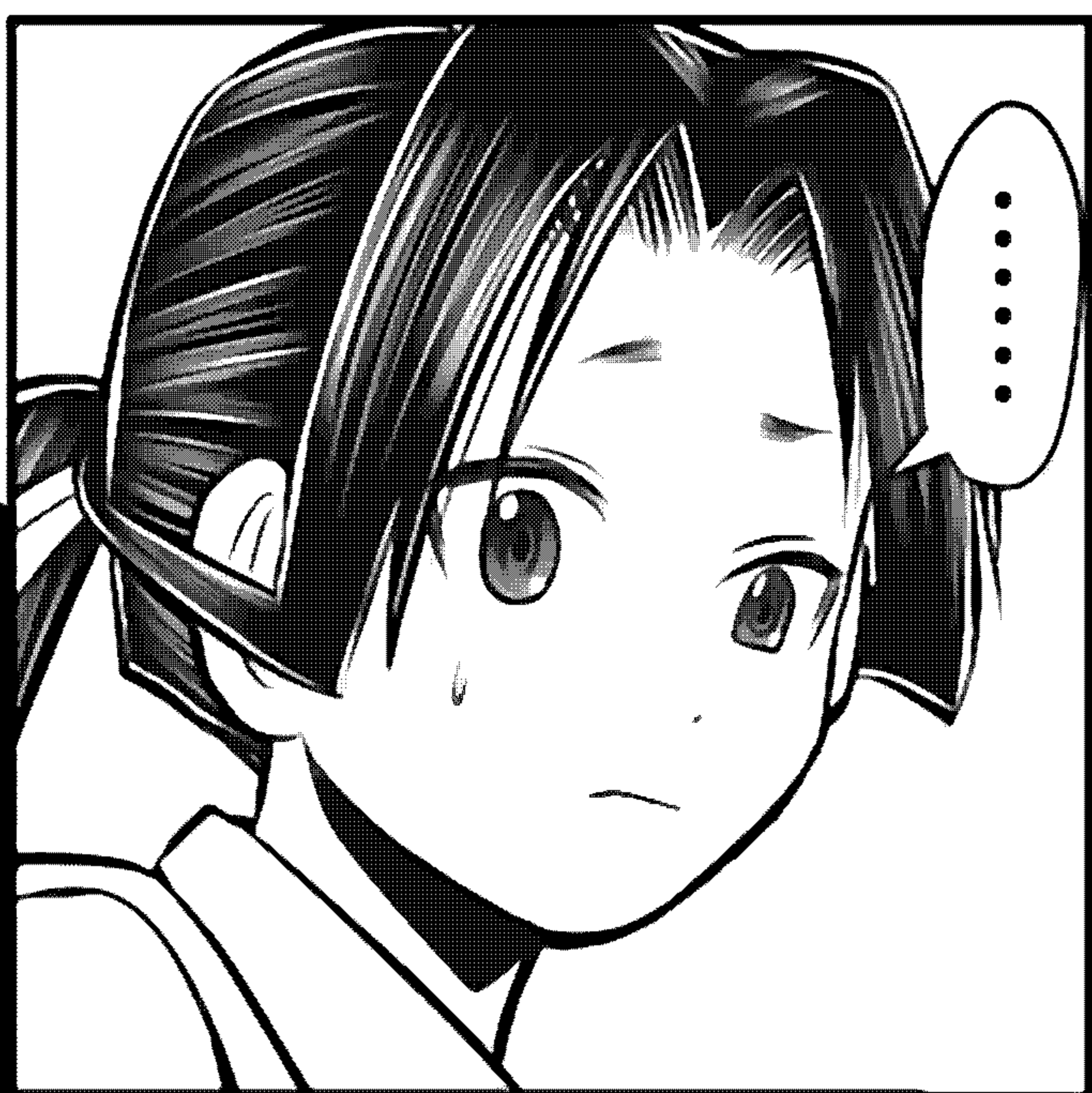
要讓祖父大人
清醒過來

スクッ



請摸摸
我的頭吧！

我說
時行大人！
賴繼想
和時行大人
更親近一點！



自我介紹時
他就一把揪住
我的衣襟

我是
“北條”

諏訪上下
沒人比我
更尊貴

明天來
跟我決鬥

輸了
就驅逐

：我一聽

也只能
哭著接受了

時行大人：

您背地裡
居然那麼
強勢



時行大人
快道歉

道歉

等……

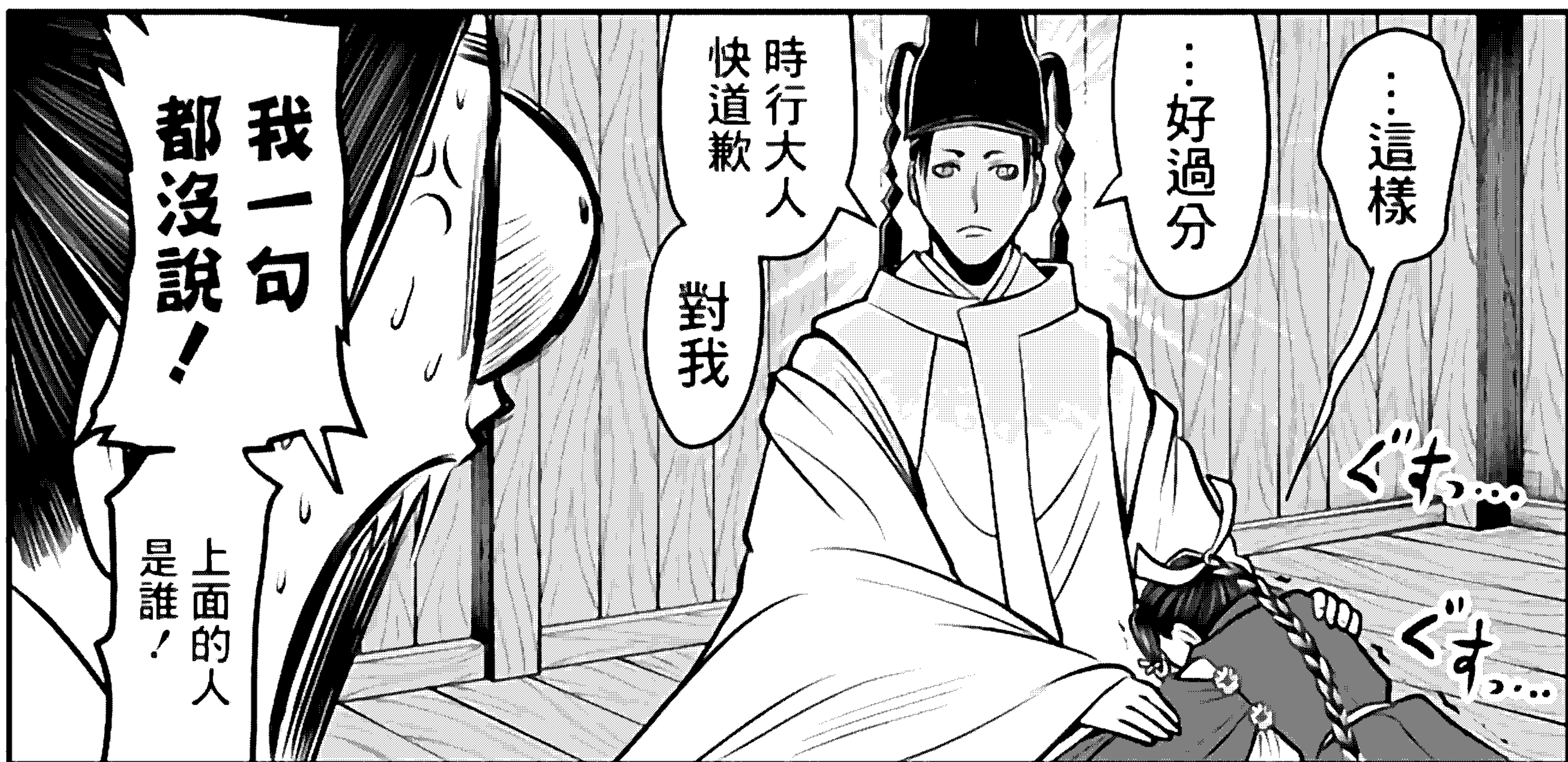
我怎麼可能
說那種話啊！



他還說

總有一天
要殺了賴重

莫名其妙的閃光
太礙眼了



……這樣

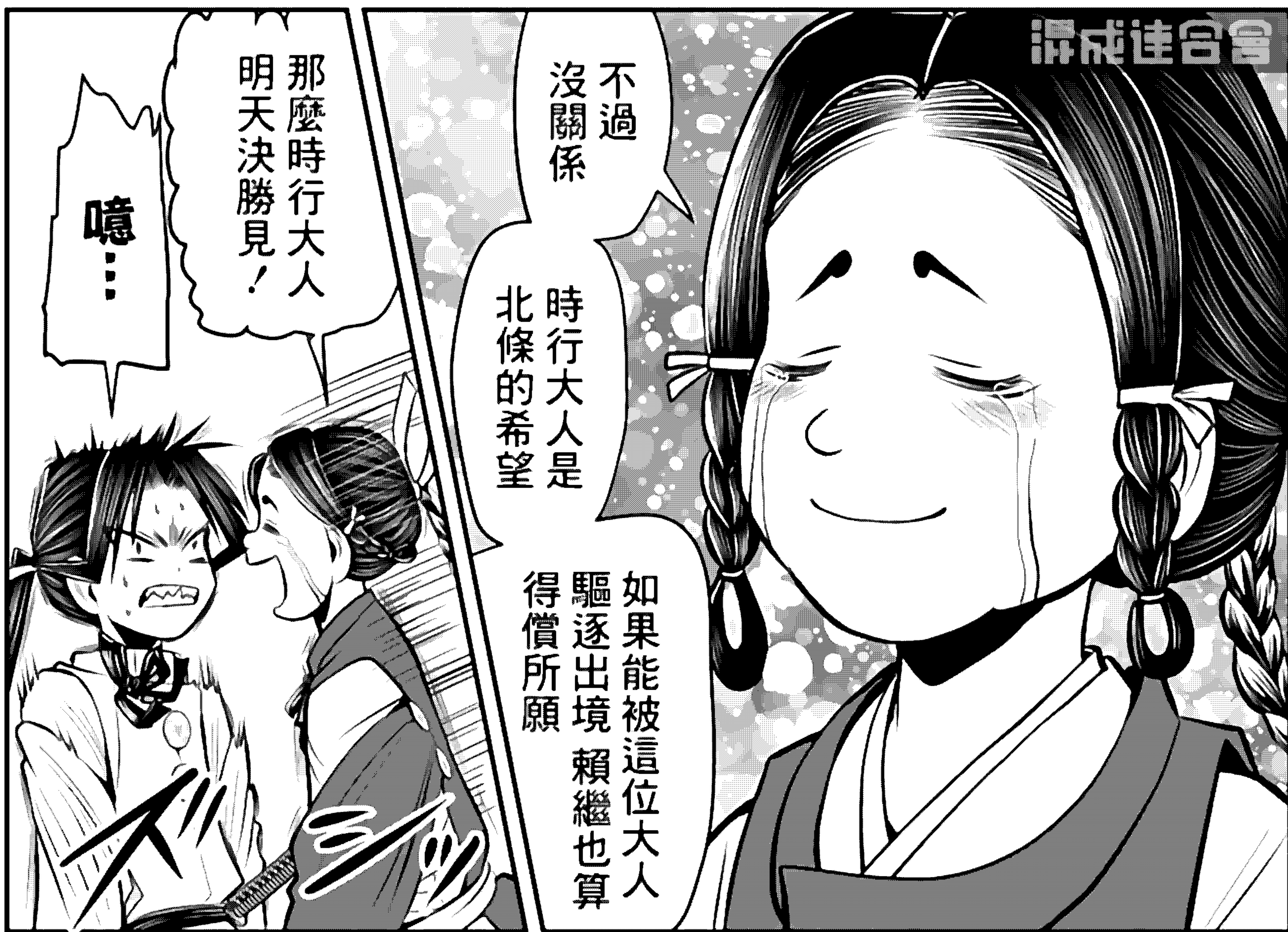
……好過分

時行大人
快道歉

對我

我一句
都沒說！

上面的人
是誰！



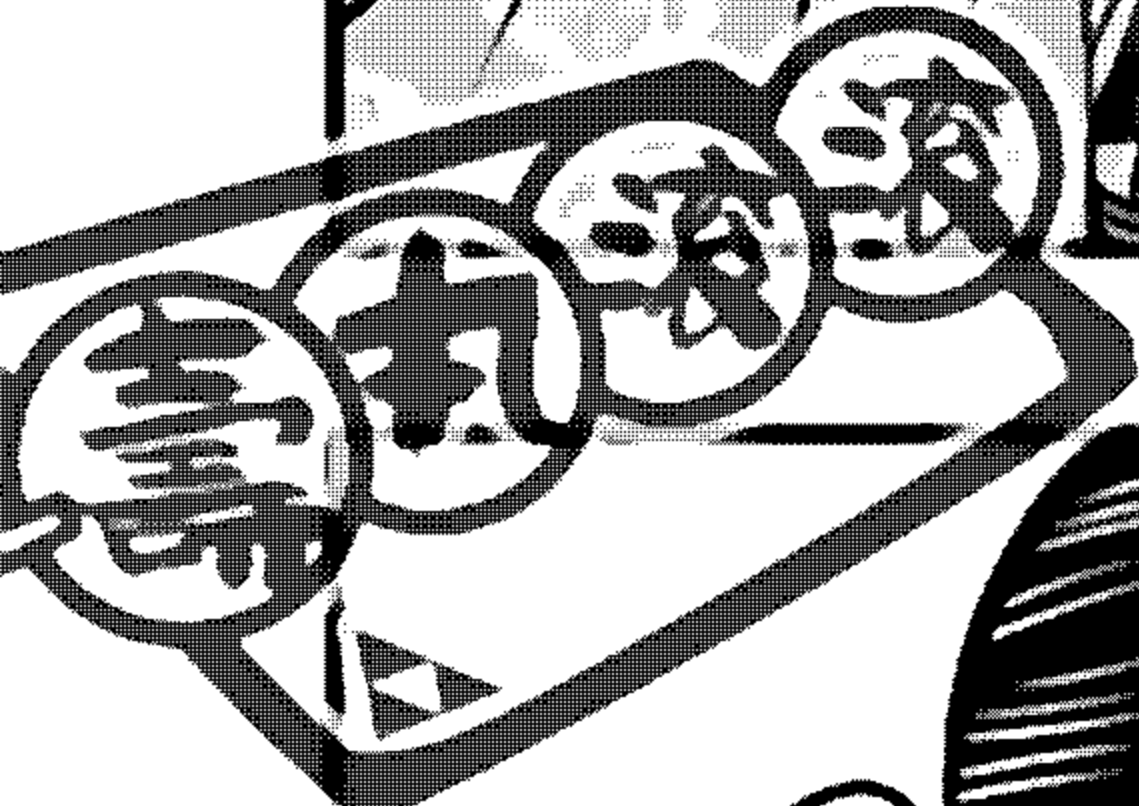


真是的……

您怎麼能
欺壓晚輩呢
時行大人

不
失禮了
時行大人！

賴繼也有錯

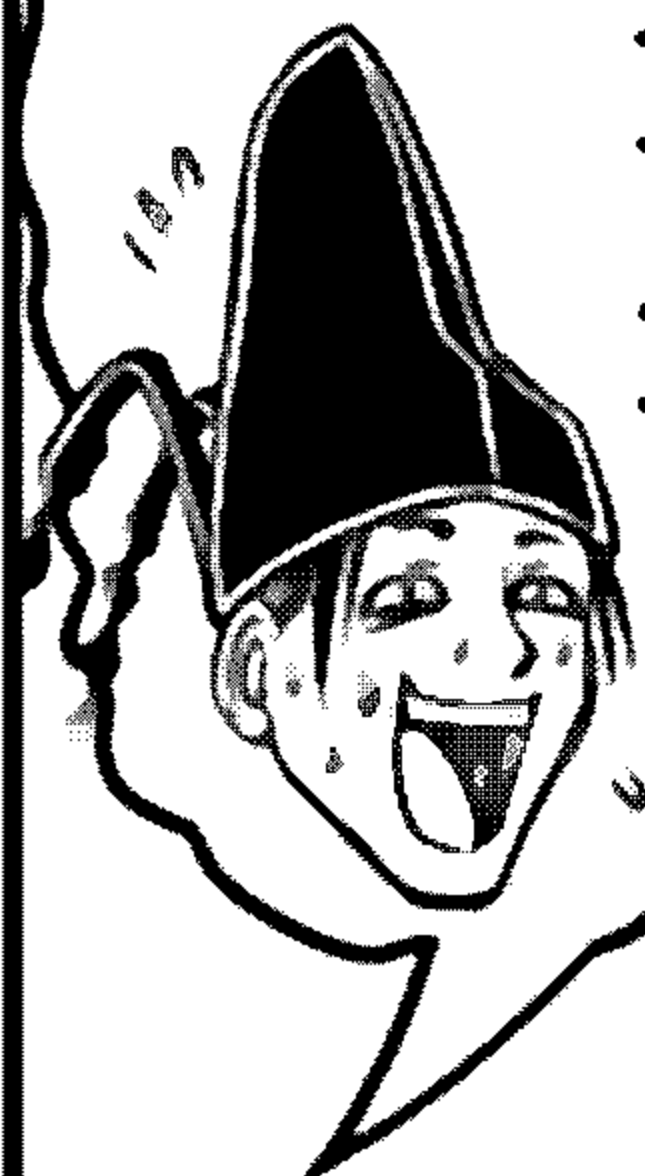


不過

看在他
還有些
不諳世事的
份上？

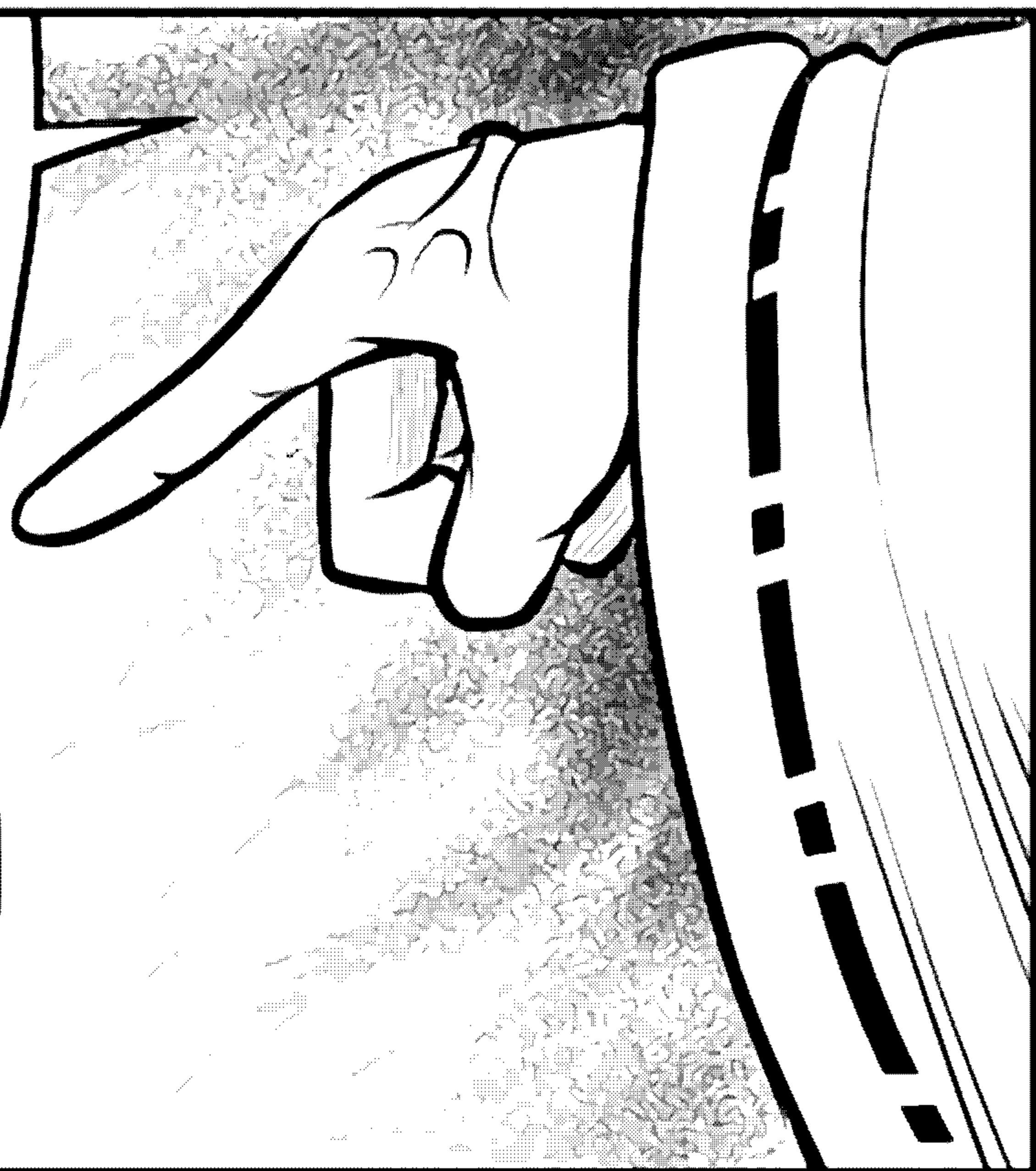
是
是啊是啊

雙方各退一步
吧！



……兩位

在那邊
坐好





你們知道
那是小孩子的
謊話吧

……是

我的大腿
不時遭到蹂躪
這件事？

……我們也裝作
沒看見

嵌字 樹懶 @

漫畫迷會



他認為
借住的我很礙事
這點我能理解……

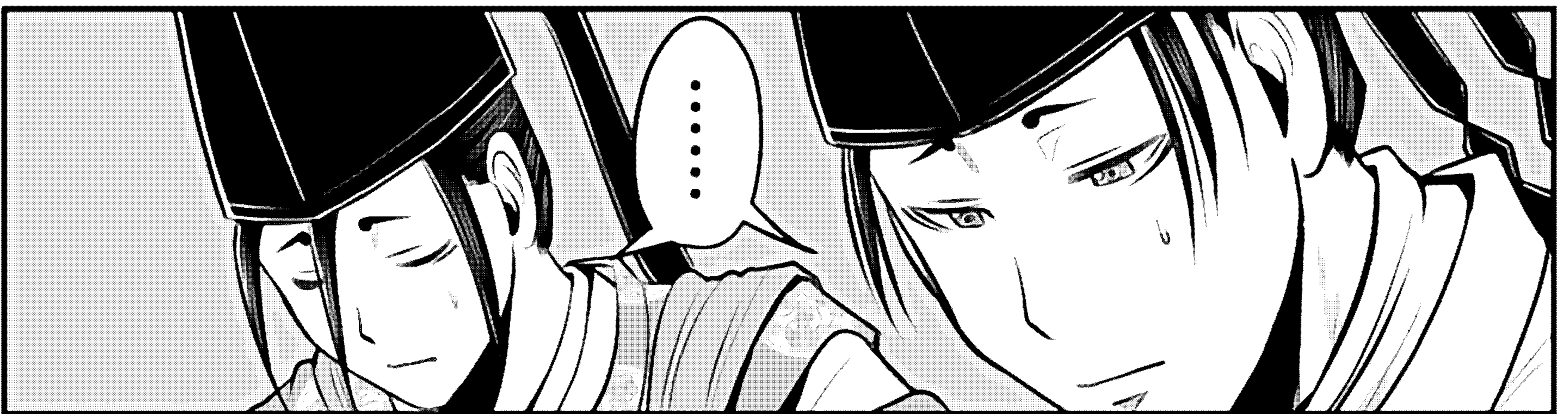
不如說是
我對不起
賴繼殿下

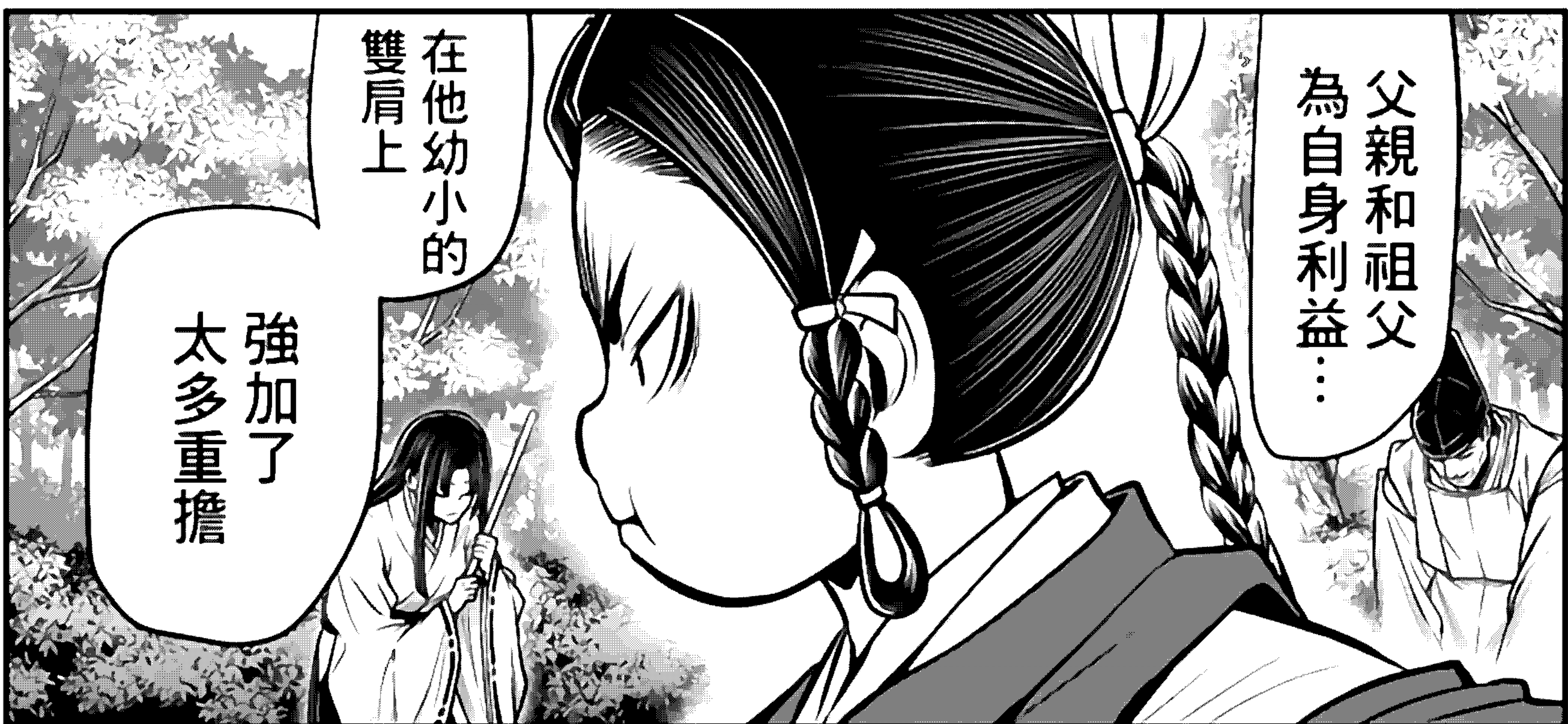
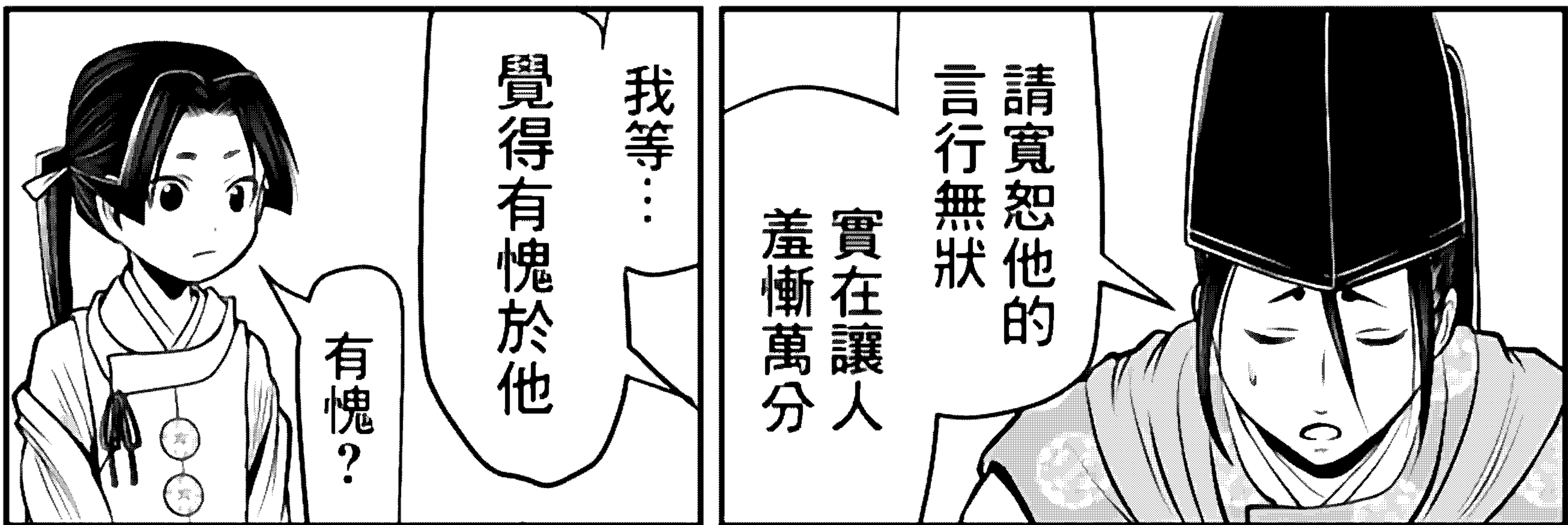
但
容我說一句
僭越的話

如果他獨一無二的
父親和祖父
都容許他這麼做

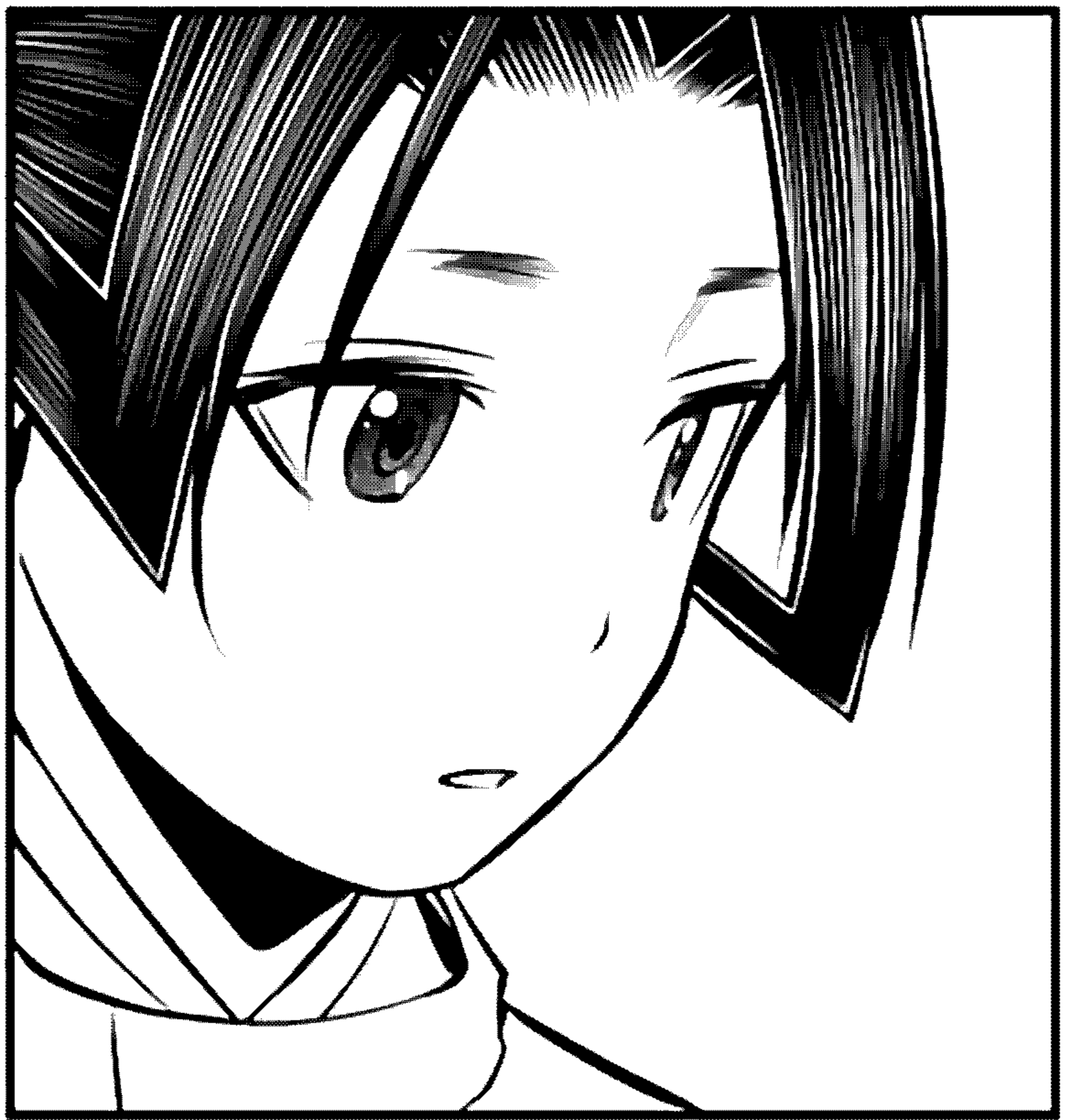
他成為神明後
會不會也
若無其事地
陷害他人？

……





※譯註：能被神靈附體而獲得神諭的人。



是嗎

所以他才……

這麼小就
被迫繼承神位



……不過
正如您所言
時行大人

再姑息放縱下去
他的前途
令人擔憂

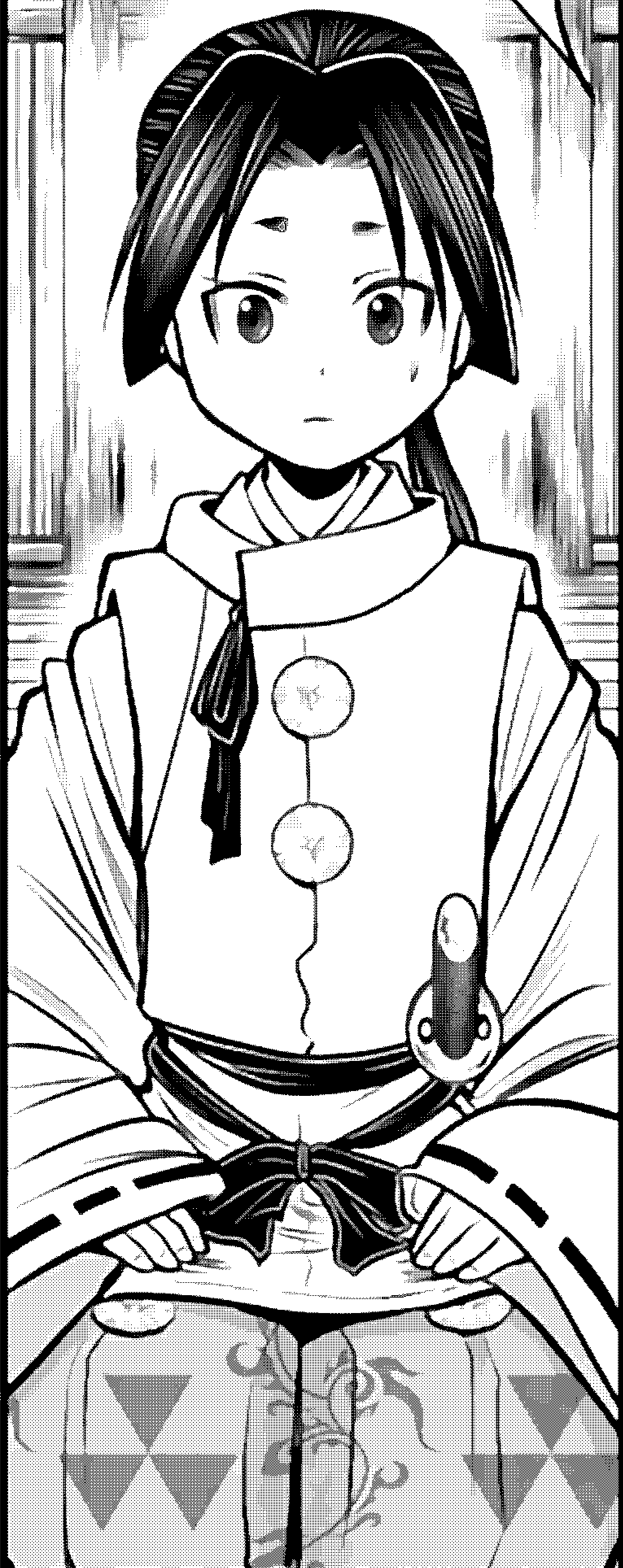
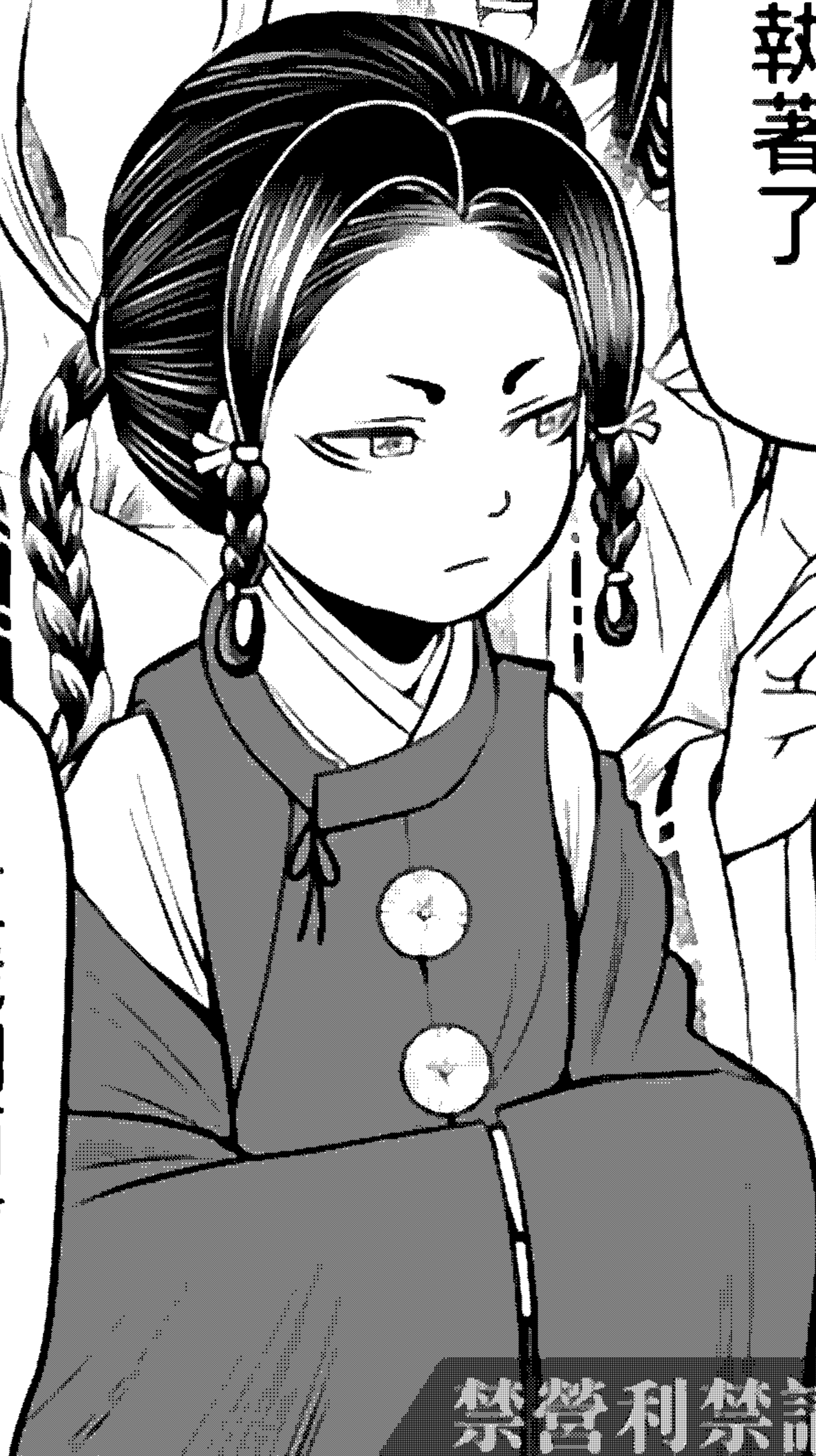
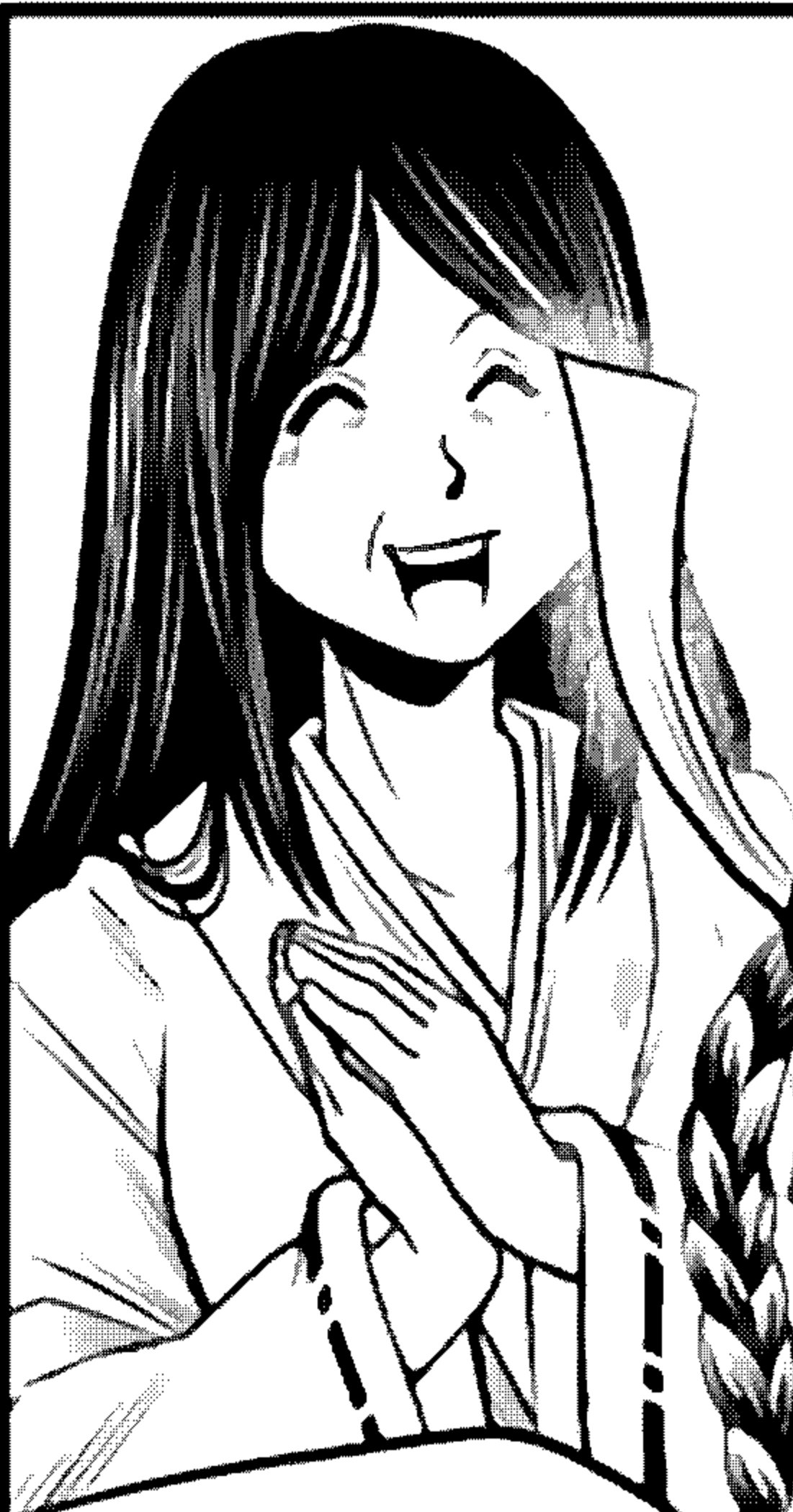


那樣的他卻
唯獨對您袒露
本心和敵意

可能是個
好機會

他也許對自己
成神的宿命
過於執著了

在我們面前
一派天真爛漫
但不愿對他人
敞開心扉

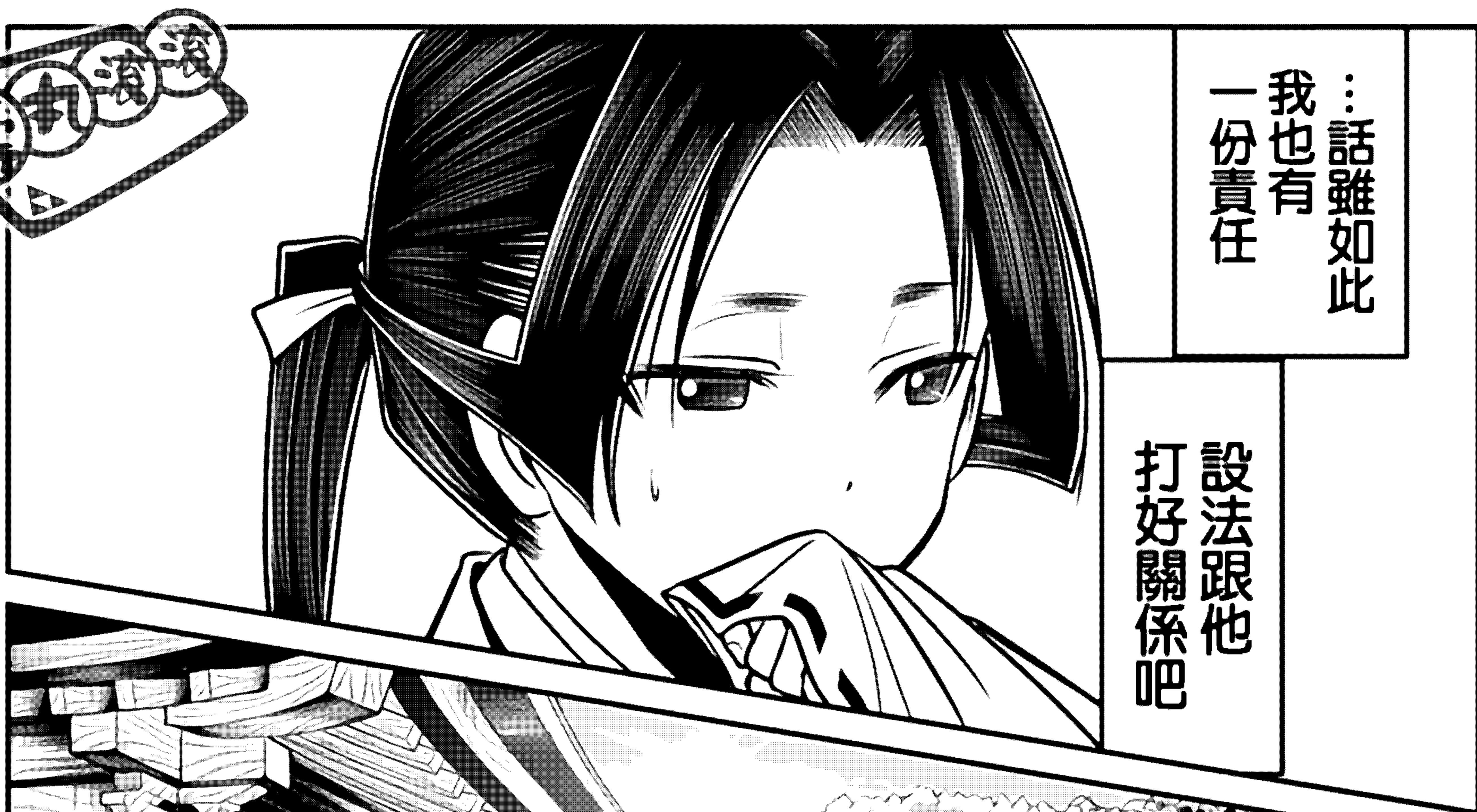




您就趁著
和賴繼決鬥
贏取他的
信任吧

請和他成為
無話不談的
朋友！

不負責任的
父子！



：話雖如此
我也有
一份責任

設法跟他
打好關係吧




決勝頂多是
孩子間的玩鬧

應該會有
拉近關係的
機會


翌日





內容是
捉迷藏！

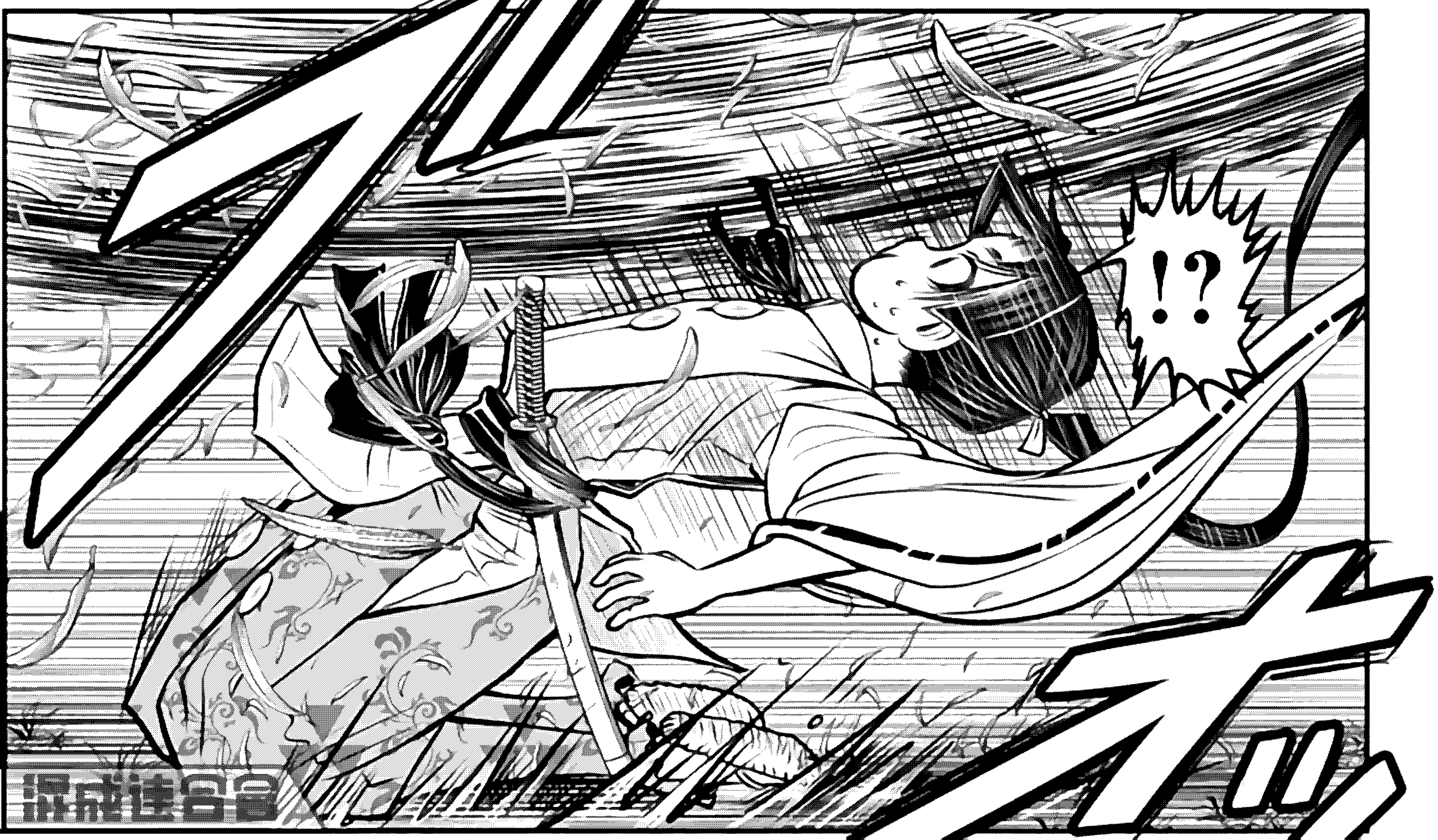
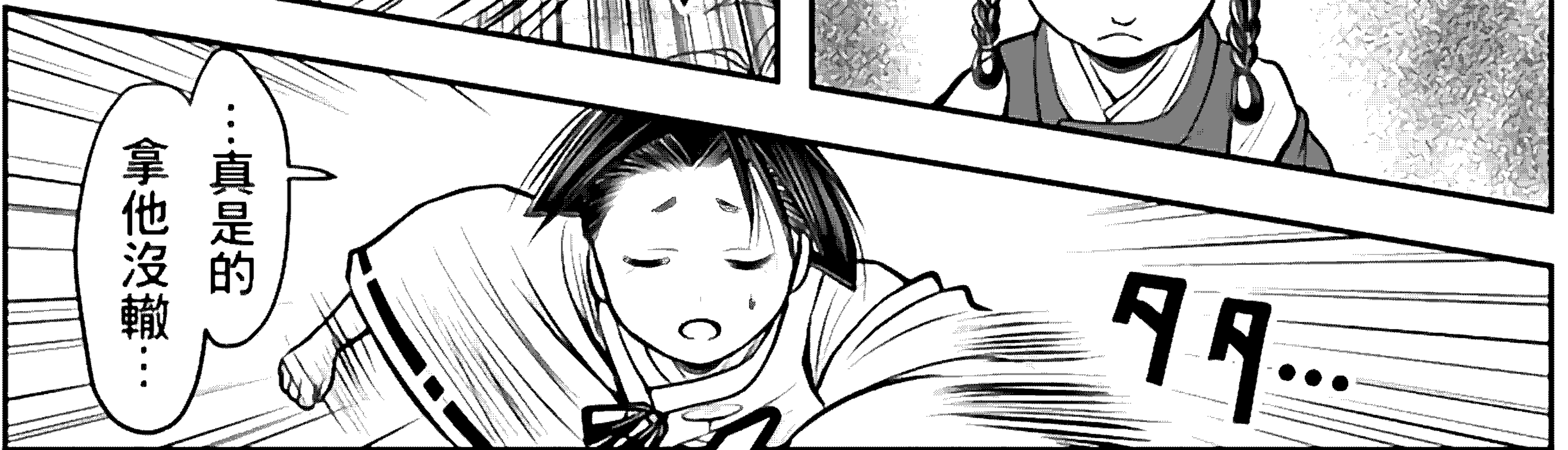
你當鬼



我要去觸碰
懸崖邊上的
御柱

在那之前
如果你
沒抓住我
我就是贏家

你得
收拾行李
離開這裡

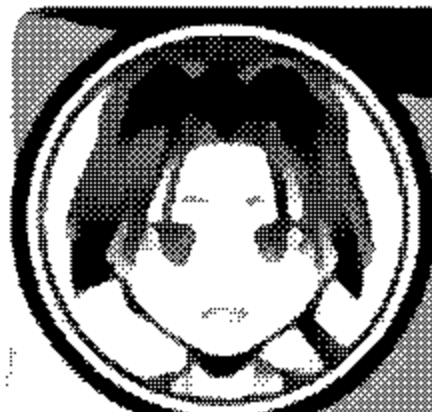




★逃跑專家
給他一點教訓——!!

神明……

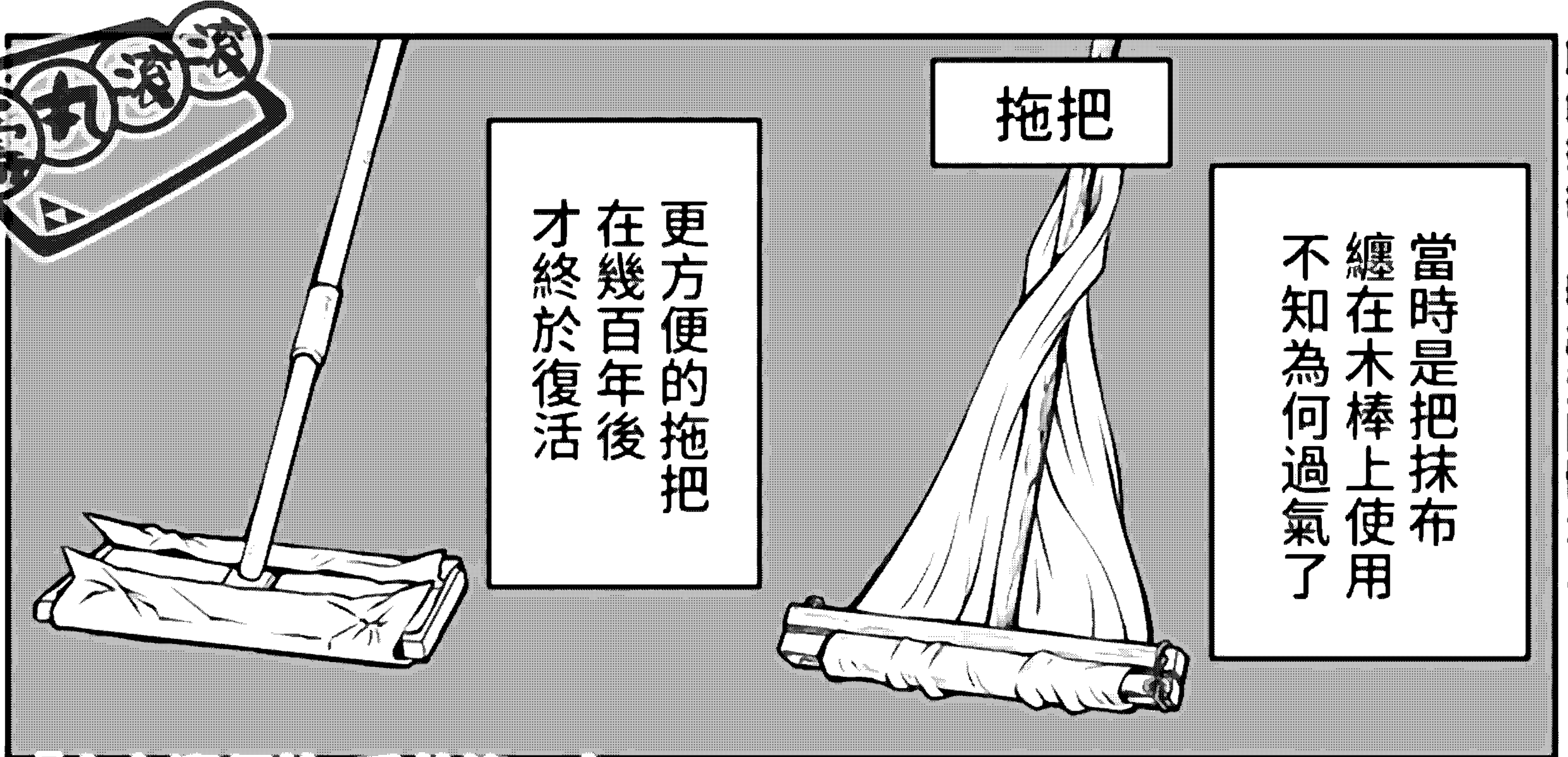
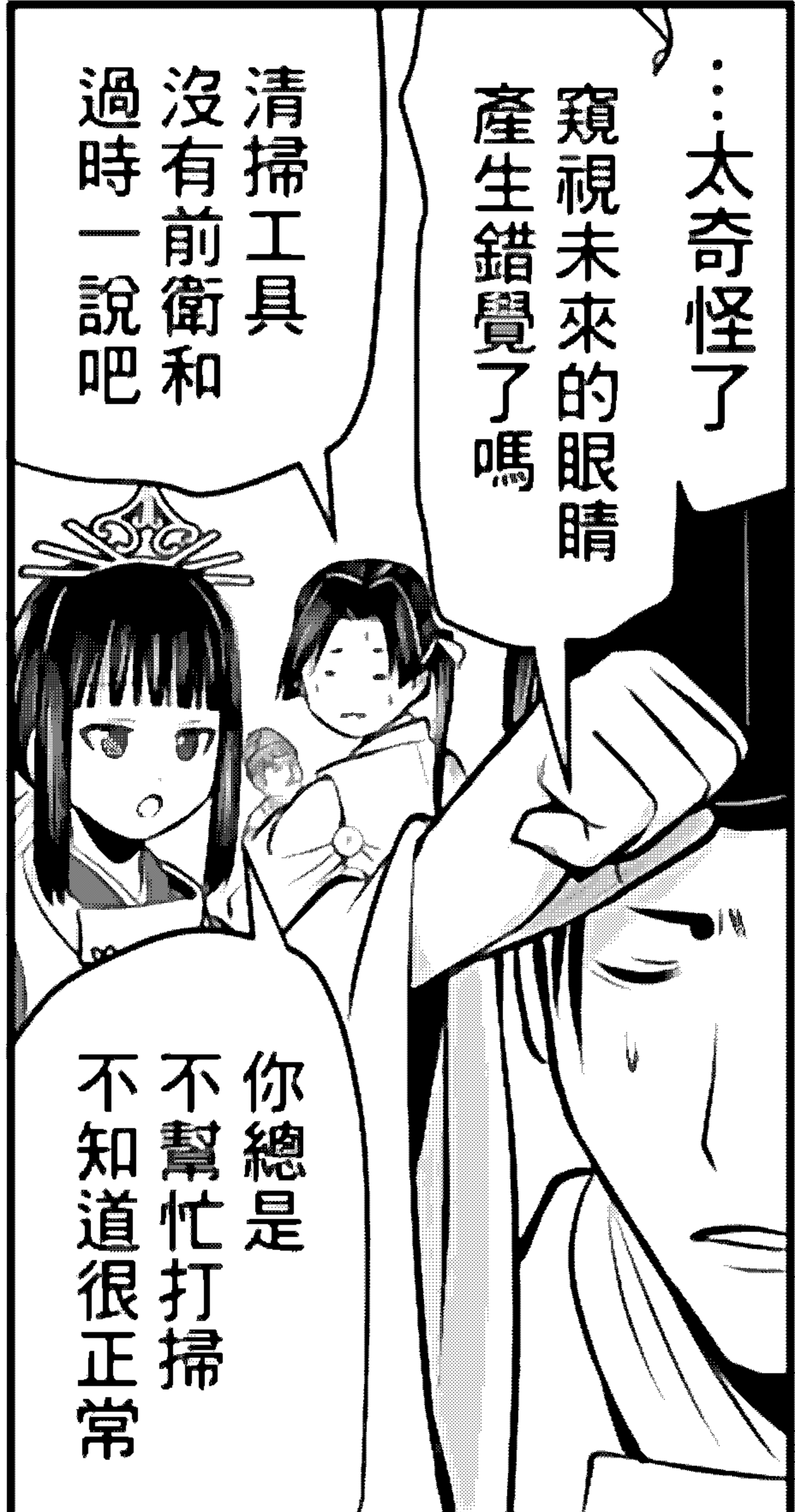
您還是
吃點苦頭
比較好



少主溜得快

第45話
... 本話完

中世也要大掃除!!



解説上手の 若君

これまでに何度か本
編に登場した「鷹狩
り」について解説！

解説 本郷和人

1960年、亀有生まれ。歴史の研究者で
ある東京大学史料館館所の教授。おっちょ
こちょいってテレビや雑誌にも出演する。

鷹狩りの技術について

問 鷹狩りは特別な技術だったの？

鷹を飼育し、鷹狩りに使えるように調教する仕事に従事しているのが鷹匠です。鷹はいうまでもなく野生の猛禽類なので、これを飼いつくらすのは並大抵のことではなく、長い時間をかけて確立された技術が必要になります。ですから、そうしたものは先生から弟子へ、父から子へと受け継がれたのです。

鷹匠は古くは鷹飼と呼ばれ、下級ながら朝廷の立派な役人でした。犬を飼いつくらす犬飼と協力して、鷹狩りを行っていたのです。古代の律令を見ると、主鷹司（のちの放鷹司）という役所が置かれ、鷹を飼う技術を磨いていました。古代の天皇は鷹狩りが大好きで、平安時代

活き活きと解説を
読まれますなあ



犬甘知光

初期の嵯峨天皇は「新修鷹経」という書物まで作らせています。鎌倉幕府は武士が鷹狩りに熱中することを怖れて鷹狩り禁止令を出しますが、諏訪神社は特別扱い。鷹が狩った獲物を神に供える神事が古くからあったので、例外的に鷹狩りが許可されました。このため、諏訪神社の神主（頼重のような人）に仕える鷹匠の技術は全国に広まりました。織田信長・豊臣秀吉・徳川家康に仕えた鷹匠も諏訪流の人物でした。

← 諏訪神楽三太郎のひとり・祐津頼直はスゴ腕の鷹使い。鷹の動きで敵の位置や行動を把握することができる。戦国時代にかけて鷹匠は様々な流派があったようです。



助太刀にえられた祐津様のお力だ

そんな時、頼もしいのが

鷹狩りの メリット！

戦いに大切なことを学べる鷹狩り。獲物を狩る際に地形の把握が必要となるため、領地と地理に詳しくなります。さらに、戦場を想定した動きの確認もできるため指揮力向上にも効果的。移動も多いので良い運動にもなっていたようです。

戦いにも
役立っ！



海野殿
皆の北に
百人規模の
敵本隊がいたな
ああ
開戦時から
動いていない

卷末語

※無敵要塞索卡斯

出手辦了！

我曾經擔任

那一頁的助手。

※譯註：漫畫《異毛真拳》中的要塞。

順位13 / 21

W J 2 0 2 2 N O 5 & 6

第45話

少主溜得快

翻譯

我不做人了

校對

古々谷殘丘

嵌字

樹懶
小氣

監製

三十二

壽丸滾滾漢化

首發微博

@混成連合會

歡迎加入漢化

測試群

648466051